

学報

(昭和四十九年一月～四月)

行事

- 2月23日 卒業論文発表会。
- 3月20日 昭和48年度卒業式。津田美智子ほか11名卒業。『樟蔭国文学 第11号』発行。
- 3月24日 大阪グランドホテルにて卒業祝賀会。
- 4月15日 入学式。
- 4月16日 新入生歓迎会。

補遺

(昭和48年3月～昭和49年3月)

- 5月15日 学外授業。二回生が久保教授、沢田助手引率のもとに、三回生が嘉部助教授引率のもとに葵祭を見学。
- 10月22日 学外授業。三回生が嘉部助教授、細川助手引率のもとに、時代祭を見学。

学

○11月22日 第13回国文学会総会。研究発表者に次の三名を追加。

井野口和子 小林 優子 宮脇布佐子

人事

新任	専任講師	大橋 正叔
退職	研究室員	稲田 裕子
	研究室員	中道 慶子

昭和四十九年度国文学科講義題目

国文学概論	久保 重
国文学史概説	原田 芳起
近世文学史	嘉部 嘉隆
国文学研究	

清少納言

和歌史論

中世歌人論

謡曲

芭蕉

近世演劇

近代短歌

樋口一葉

現代の文学

日本音声学

国文学講読

古事記

万葉集

狭衣物語

和泉式部日記

更級日記

平家物語

新勅撰集

西鶴

春雨物語

浄瑠璃

近代の抒情詩

久保 重

安田 章生

安田 章生

西畑 実

木村三四吾

大橋 正叔

安田 純生

山根 賢吉

嘉部 嘉隆

杉藤美代子

山本 和子

安田 純生

原田 芳起

山本 和子

久保 重

嘉部 嘉隆

西畑 実

木村三四吾

大橋 正叔

横山 正

山根 賢吉

国文学演習

源氏物語―宿木

源氏物語―夕顔

源氏物語

和泉式部集

古今集

仮名草子

近代の評論

中古の物語 I

中古の物語 II

女流文学

和歌文学・謡曲

近世文学

明治大正の文学

大正昭和の文学

国語学

国語学概論

国語学史概説

国語法概論

国語表現論

話ことば

国語科教科教育法

久保 重

西畑 実

山本 和子

安田 章生

西畑 実

大橋 正叔

嘉部 嘉隆

原田 芳起

原田 芳起

久保 重

西畑 実

大橋 正叔

嘉部 嘉隆

嘉部 嘉隆

杉藤美代子

杉藤美代子

原田 芳起

原田 芳起

杉藤美代子

山上ミチ子

杉藤美代子

執筆者紹介

原田 芳起

本学教授

西畑 実

本学助教授

嘉部 嘉隆

本学助教授

杉藤美代子

本学助教授

中塚 裕子

本学国文学科
昭和四十八年三月卒業

高橋 美絵

本学国文学科
昭和四十九年三月卒業

坂本 玲

本学国文学科
昭和四十九年三月卒業

編集後記

○本号から発行が半年ほど繰り上った。主として執筆者の都合と、印刷の期間に十分の余裕をもたせるためである。今後、九月発行を守ってゆきたい。なお、発行時期が繰り上ったため、「学報」のうち、卒業論文題目を省略し、「受贈雑誌」を次号にまわした。

○本号から、責任編集制になったため、編者として新企画を考えた。たとえば、本学図書館所蔵の近代文学関係の雑誌のうち、比較的稀覯なものの細目の紹介などであるが、紙数の関係と時間的な余裕がなかったことで、今回は実現しなかった。次号であらためてこの企画を練り直してみたい。

○会員諸氏は、御研究の成果をどしどし御投稿いただきたい。四百字詰原稿用紙三十枚まで。採否は編集者に御一任下さい。また、原稿は御希望があれば返送致します。

(嘉部、大橋)

樟蔭国文学 第十二号

昭和四十九年九月十日発行

編集者

大阪樟蔭女子大学
国文学会
(代表者 原田芳起)

印刷所

榊明新社大阪店
大阪市天王寺区上本町七の二
電話 (〇) 七七一四五〇一

発行所

東大阪市菱屋西二五八
大阪樟蔭女子大学
国文学会